

「自転車のまち推進計画」における課題及び方向性

	取組状況	評価	課題	方向性																													
安全	<p>○自転車走行空間整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・整備延長（H26 年度末）</li> </ul> <p>≪目標値≫25.4km ≪実績≫17.6km（達成率 69.3%）</p> <p>主な整備手法、自転車専用通行帯、自転車歩行車道の分離、自転車走行位置の明示 など</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>【整備前】</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>【整備後】</p>  </div> </div>	<p>○自転車走行空間整備</p> <p>■安全性の向上</p> <p>整備路線は事故の減少割合が高く、安全性が向上している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内全体（H20）837件⇒（H25）504件 40%減少</li> <li>・整備路線（整備前平均値）22件⇒（整備後平均値）12件 46%減少</li> </ul> <p>■走行環境に対する意向調査（H26 基礎調査、N=750）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・整備路線について「走りやすい」と感じる回答：74%</li> <li>・市内の走行環境に対する満足度：28% ※整備拡大を求める意見が多い。</li> </ul> <p>■利用状況（H26 ビデオ調査）</p> <p>整備路線において、車道を走行する自転車が9%増加した。</p>	<p>○自転車走行空間整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道路幅員等の状況により、自転車専用通行帯などの効果的な整備手法が困難な路線がある。</li> <li>・整備を行った路線においても、出会い頭などの交差点部での事故の発生割合が高い。</li> <li>・整備路線において、自転車専用通行帯を逆走する利用者が見受けられる。</li> </ul>	<p>○自転車走行空間整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国の動向を踏まえ、矢羽根などの新たな整備手法等を活用する。</li> <li>・交差点部内において、自転車の走行位置を明示し、視認性や安全性を高める。</li> <li>・国・県道を含めた路線で連続性を確保できるよう、効果的かつ効率的な手法を確立させ、さらなる整備を進める。</li> </ul>																													
	<p>○交通安全教室、広報啓発活動の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宇都宮ブリッツェンとの自転車安全利用教室</li> </ul> <p>≪目標値≫16校/年間 ≪実績≫7校/年間（H26 実績）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スクエアドストレイト方式による交通安全教室※</li> </ul> <p>≪目標値≫6校/年間 ≪実績≫9校/年間（H26 実績）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ブリッツェンとの安全教室</td> <td>3回</td> <td>5回</td> <td>7回</td> <td>7回</td> </tr> <tr> <td>スクエアドストレイト</td> <td>5回</td> <td>7回</td> <td>9回</td> <td>9回</td> </tr> </tbody> </table> <p>※スタントマンにより事故を再現し、交通ルールを遵守する大切さを学ぶ事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車の安全利用のための街頭指導</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施箇所</td> <td>1箇所</td> <td>7箇所</td> <td>11箇所</td> <td>9箇所</td> </tr> <tr> <td>実施回数</td> <td>32回</td> <td>20回</td> <td>29回</td> <td>40回</td> </tr> </tbody> </table>		H23	H24	H25	H26	ブリッツェンとの安全教室	3回	5回	7回	7回	スクエアドストレイト	5回	7回	9回	9回		H23	H24	H25	H26	実施箇所	1箇所	7箇所	11箇所	9箇所	実施回数	32回	20回	29回	40回	<p>○交通安全教室、広報啓発活動の実施</p> <p>■ルール・マナーに対する意向調査（H26 基礎調査、N=750）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車の交通ルールの認知度：約70%</li> <li>・走行ルール・マナーに対する満足度：15%</li> </ul> <p>■ルール・マナーの向上（実施調査）</p> <p>街頭指導の実施により、自転車の違反行為の減少につながっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車通行量に占める違反行為の割合※</li> </ul> <p>H22年度 56.4% ⇒ H26年度 39.3%</p> <p>※毎年12月に、オリオン通り及び元今泉交差点において調査</p>	<p>○交通安全教室、広報啓発活動の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ルール・マナーについて、認知はしているものの、遵守しない利用者も一部見受けられる。</li> </ul>
	H23	H24	H25	H26																													
ブリッツェンとの安全教室	3回	5回	7回	7回																													
スクエアドストレイト	5回	7回	9回	9回																													
	H23	H24	H25	H26																													
実施箇所	1箇所	7箇所	11箇所	9箇所																													
実施回数	32回	20回	29回	40回																													
快適	<p>○自転車の駅の設置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・設置箇所数（H26 年度末）</li> </ul> <p>≪目標値≫36箇所</p> <p>≪実績≫41箇所（達成率 113.8%）</p> <p style="text-align: center;">【自転車の駅の配備品】</p> 	<p>○自転車の駅の設置</p> <p>■認知度（H26 基礎調査、N=750）</p> <p>認知度は低いものの、コンビニエンスストアを中心に設置箇所の拡大を図り、利用環境の向上に努めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車の駅の認知度：22%（うち利用有りは4%）</li> </ul>	<p>○自転車の駅の設置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車の駅においては、設置箇所より、認知度が高くなく利用者が少ない施設がある。</li> </ul>	<p>○自転車の駅の設置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車交通量を踏まえ、効果的な場所に設置を行う。</li> <li>・設置施設と連携しながら、効果的なPRに取り組む。</li> </ul>																													
	<p>○駐輪場の対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄道駅周辺の駐輪場収容台数（H26 年度末）</li> </ul> <p>≪目標値≫8,512台 ≪実績≫8,692台（達成率 102.1%）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バス停付近への駐輪場整備（H26 年度末）</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市整備</td> <td>—</td> <td>1箇所</td> <td>—</td> <td>2箇所</td> </tr> <tr> <td>県・バス事業者等整備</td> <td>—</td> <td>3箇所</td> <td>3箇所</td> <td>3箇所</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中心市街地における短時間駐輪スポットの整備</li> </ul> <p>商店街に対する補助制度を拡充（H24）し、店舗敷地内に駐輪ラックを設置（2箇所）</p>  <p style="text-align: center;">【バス停付近の駐輪スポット】</p>		H23	H24	H25	H26	市整備	—	1箇所	—	2箇所	県・バス事業者等整備	—	3箇所	3箇所	3箇所	<p>○駐輪場の対策</p> <p>■鉄道駅周辺における駐輪場</p> <p>自転車利用者が増加しているとともに、駐輪場利用者の需要は、定期利用の待機者が発生している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・H26 定期利用待機者数</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>JR 西口</th> <th>JR 東口第1</th> <th>JR 東口第2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>待機者数（月平均）</td> <td>84人</td> <td>358人</td> <td>32人</td> </tr> </tbody> </table> <p>■郊外部のバス停付近における駐輪場</p> <p>新たに公共施設や民間企業の駐輪場を有効活用し、4箇所の整備を実施した。</p> <p>■中心市街地における短時間駐輪スポット</p> <p>補助制度の活用が図れておらず、放置自転車対策や利用環境の向上につなげない。</p>		JR 西口	JR 東口第1	JR 東口第2	待機者数（月平均）	84人	358人	32人	<p>○駐輪場の対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄道駅周辺の駐輪場においては、収容台数が需要に対応できていない。</li> <li>・中心市街地においては、駐輪ニーズと市営駐輪場の整備位置の整合性が図れておらず、放置自転車の発生につながっている。</li> </ul>	<p>○駐輪場の対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄道やバスなどとの連携を強化することにより、自転車の利用促進につながることから、郊外部におけるバス停付近への駐輪場の整備や鉄道駅における待機者の解消などに取り組む、より自転車を身近に活用できる環境づくりを推進する。</li> <li>・また、中心市街地においては、放置自転車対策の強化とともに、商店街や企業と連携した取り組みにより利用者ニーズの高い駐輪スポットの創出に取り組む。</li> </ul>						
	H23	H24	H25	H26																													
市整備	—	1箇所	—	2箇所																													
県・バス事業者等整備	—	3箇所	3箇所	3箇所																													
	JR 西口	JR 東口第1	JR 東口第2																														
待機者数（月平均）	84人	358人	32人																														

	取組状況	評価	課題	方向性																														
楽しく	<p>○レンタサイクルの拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・レンタサイクル貸出拠点（H26 年度末）</li> <li>    《目標値》 14 箇所    《実績》 7 箇所（達成率 50%）</li> <li>・レンタサイクル利用者（H26 年度末）</li> <li>    《目標値》 41,000 人    《実績》 45,707 人（達成率 111%）</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通 110 台</td> <td>32,427 人</td> <td>36,981 人</td> <td>38,994 人</td> <td>37,529 人</td> </tr> <tr> <td>電動アシスト 55 台</td> <td>1,850 人</td> <td>5,068 人</td> <td>6,668 人</td> <td>8,178 人</td> </tr> <tr> <td>合計 165 台</td> <td>34,277 人</td> <td>42,049 人</td> <td>45,662 人</td> <td>45,707 人</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宿泊施設におけるレンタサイクル（おもてなしレンタサイクル）</li> <li>    《実績》 6 施設で実施</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用者数</td> <td>1,136 人</td> <td>1,573 人</td> <td>1,359 人</td> <td>1,151 人</td> </tr> </tbody> </table>		H23	H24	H25	H26	普通 110 台	32,427 人	36,981 人	38,994 人	37,529 人	電動アシスト 55 台	1,850 人	5,068 人	6,668 人	8,178 人	合計 165 台	34,277 人	42,049 人	45,662 人	45,707 人		H23	H24	H25	H26	利用者数	1,136 人	1,573 人	1,359 人	1,151 人	<p>○レンタサイクルの拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■市営駐輪場のレンタサイクル</li> <li>    鉄道駅を中心に利用が伸びており、移動手段として確立されている。</li> <li>■宿泊施設におけるレンタサイクル（おもてなしレンタサイクル）</li> <li>    ビジネスホテルを中心に利用が定着し、おもてなしの向上が図れたとともに、宿泊施設からも一定の評価をいただいている。</li> </ul>  <p>〔電動アシスト自転車〕</p>	<p>○レンタサイクルの拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・貸出状況により、台数が足りない状態になってしまっていることがある。</li> <li>・電動アシストについては、普通自転車より、利用率が低い。</li> <li>・観光施設へのレンタサイクルの導入に至っていない。</li> </ul>	<p>○レンタサイクルの拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まちなかの回遊性の向上を図るため、貸出場所や台数の拡充について検討を進める。</li> <li>・電動アシストについて、効果的な利用促進策や活用法について検討を行う。</li> <li>・観光振興につながるよう、観光施設周辺へレンタサイクルを導入するなど、自転車をより楽しく利用できるような環境整備に取り組む。</li> </ul>
		H23	H24	H25	H26																													
	普通 110 台	32,427 人	36,981 人	38,994 人	37,529 人																													
	電動アシスト 55 台	1,850 人	5,068 人	6,668 人	8,178 人																													
	合計 165 台	34,277 人	42,049 人	45,662 人	45,707 人																													
	H23	H24	H25	H26																														
利用者数	1,136 人	1,573 人	1,359 人	1,151 人																														
<p>○宮サイクルステーションの運営</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者数</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>来館者</td> <td>6,296 人</td> <td>4,725 人</td> <td>5,610 人</td> <td>5,692 人</td> </tr> <tr> <td>レンタサイクル</td> <td>883 人</td> <td>602 人</td> <td>852 人</td> <td>1,173 人</td> </tr> </tbody> </table>		H23	H24	H25	H26	来館者	6,296 人	4,725 人	5,610 人	5,692 人	レンタサイクル	883 人	602 人	852 人	1,173 人	<p>○宮サイクルステーションの運営</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■利用状況</li> <li>    指定管理者と連携し、サービスを充実させたことにより、来館者やレンタサイクル利用者が増加傾向である。</li> <li>■認知度（H26 基礎調査、N=750）</li> <li>    ・市民からの認知度：54.5%</li> <li>    ・市外のサイクリストからの認知度：3.6%</li> </ul>	<p>○宮サイクルステーションの運営</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・さらなる利用促進に向けて、サービスの向上が求められている。</li> <li>・敷地において、空間的な制約があることから、サービスが限定的となってしまう。</li> </ul>	<p>○宮サイクルステーションの運営</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理者と連携しながら、サイクルスポーツの更なる活性化を図るため、サービスの充実に取り組むとともに、効率的に自転車のまち宇都宮を PR できる取組を進める。</li> </ul>																
	H23	H24	H25	H26																														
来館者	6,296 人	4,725 人	5,610 人	5,692 人																														
レンタサイクル	883 人	602 人	852 人	1,173 人																														
<p>○自転車マップの作成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作成部数（H26 年度）</li> <li>    《実績》 7,200 部</li> </ul>	<p>○自転車マップの作成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■走行ルートの PR</li> <li>    毎年度、情報の更新を行い、自転車関連施設やサイクルイベントなどで効率的に配布し、自転車利用者の走行ルート等を PR している。</li> </ul>	<p>○自転車マップの作成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・配布実態はあるものの、利用実態については十分に把握できていない。</li> </ul>	<p>○自転車マップの作成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・掲載情報の充実を図るとともに、インターネットなどの新たな媒体の活用も検討を行う。</li> </ul>																															
<p>○サイクリングロードの整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サイクリングロード整備におけるあり方や整備の優先度等を定めた基本計画を策定（H26.3）し、整備を開始</li> </ul>	<p>○サイクリングロードの整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■整備開始</li> <li>    整備計画に基づき、田川・山田川未整備区間の整備に着手するなど新たな利用環境の創出に取り組んでいる。</li> </ul>	<p>○サイクリングロードの整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本計画に具体的な整備手法や整備主体などについて明確に位置付けていない。</li> </ul>	<p>○サイクリングロードの整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・管理や整備などの主体について、関係機関と協議調整を行い、迅速的に整備を進めていく。</li> </ul>																															
<p>○自転車モニター事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民や企業を対象としたモニター事業の実施に向けて、試行的に市職員を対象にしたモニター事業を実施（通勤手段を自動車から自転車に切替）</li> <li>    《実績》</li> <li>    実施期間：2 ヶ月間（週 3 日以上実施）</li> </ul>	<p>○自転車モニター事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■実施効果</li> <li>    モニター実施にあたり、血液検査もあわせて実施効果を検証し、2 ヶ月間の短期間であるものの、参加者全員において健康増進につながる効果が表れた。（N=4）</li> <li>    ・健康分野（平均値）体重－2.1 kg、体脂肪－1.6%、中性脂肪－6.5</li> <li>    ・環境分野（参加者合計値）CO2 削減量－154 kg</li> </ul>	<p>○自転車モニター事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車の利用促進につながる取り組みであるモニター事業について、試行実施にとどまっており、具体的な取り組みができていない。</li> </ul>	<p>○自転車モニター事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民や企業などを対象にモニター事業等を実施し、自転車のメリットを効果的に訴求し、利用意識を高める。</li> <li>・自転車通勤の促進に向けた課題の把握及び対応策の検討を行い、自転車への転換を図る。</li> </ul>																															
<p>課題</p> <p>庁内外の関係者と連携しながら、重点事業を中心に個々の施策事業を推進し、事故減少による安全性の向上やレンタサイクルの利用者が増加するなど利用環境の向上を図ってきたが、世論調査における自転車のまちに対する全体的な市民の満足度は、計画策定時とほぼ横ばいであったことから、さらなる取組が必要であるとともに、効果的な PR や情報発信が不足している。</p>	<p>方向性</p> <p>安全で快適に楽しく自転車を利用できる「自転車のまち宇都宮」のさらなる推進にあたっては、国の動向や本市の関連計画、市民ニーズなどを踏まえ、独自性の高い取組を進めていく必要があることから、新たな施策や強化すべき施策を明確するとともに、「自転車のまち推進計画後期計画」に位置付け、事業を推進する。</p>																																	